

幕末青梅

青梅には「幕末の三舟」と呼ばれる勝海舟・高橋泥舟・山岡鉄舟が市内各神社に筆を取った幟旗をはじめ、多摩川での鮎釣りに由来する土佐藩士板垣退助の銅像、幕臣川路聖謨としあきらの武蔵玉川地方の巡視など、幕末の志士達の足跡が様々な形で存在します。

そして、黒船来航などによる治安悪化から剣術が盛んになり、青梅でも開平三知流剣術始祖三田左内、柳剛流三代目石川良助など多数の剣客を輩出しました。

また、青梅は埼玉県名栗谷の農民達を発端とする慶応二（一八六六）年の打ちこわし（武州世直し一揆）が及んだ地域でもあり、当市域の農民を巻き込み、青梅宿の穀屋をはじめ、多くの商家を打ちこわしました。その後の旧幕府軍と新政府軍の争いにおいても、彰義隊と袂を分けた振武軍が抗戦の候補地として青梅を挙げ、それを回避した記録が残されています。

今回の企画展では、市内に残る志士達のモノ・記録、この地で起こった事件から青梅の幕末をご紹介します。



平成 24 年度企画展 「幕末青梅」

会期 平成 24 年 4 月 1 日(日)
～8 月 5 日(日)

〒198-0053
東京都青梅市駒木町 1-684
J R 青梅線「青梅」駅下車徒歩 15 分
TEL0428-23-6859
入館無料
開館時間 午前 9 時～午後 5 時
休館日 月曜日
(月曜日が祝日の場合翌日)

